

2022年4月22日

住友電気工業株式会社
東京トラベルパートナーズ株式会社
一般社団法人関西イノベーションセンター

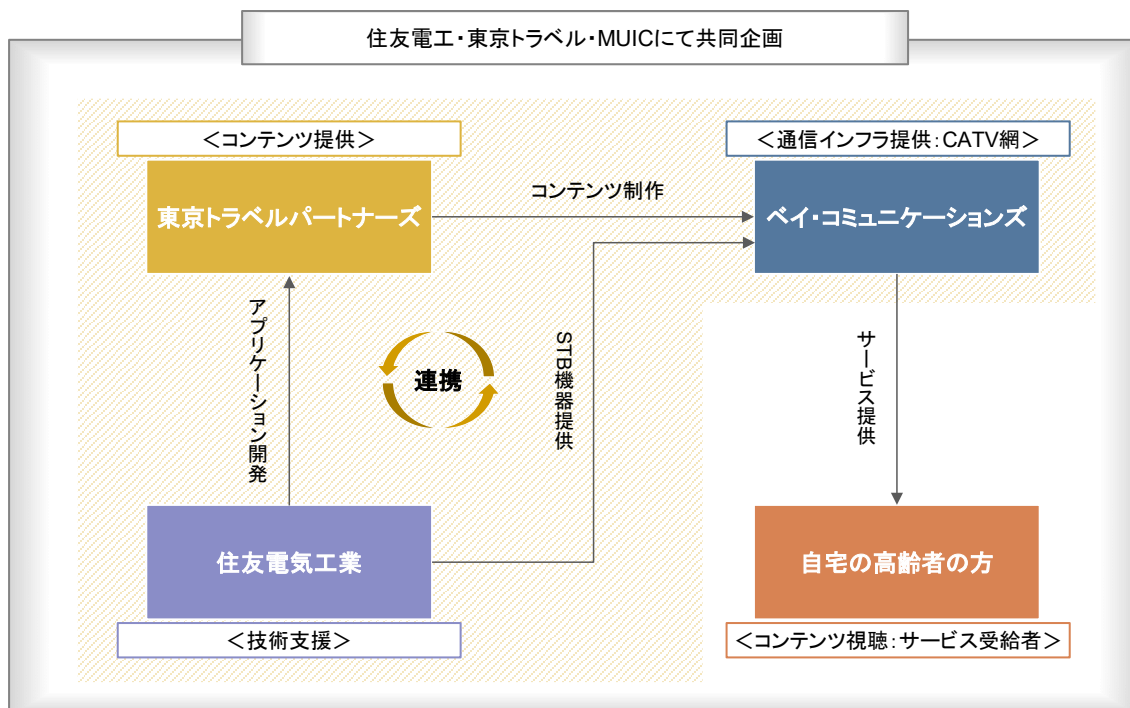
課題解決プログラム「リモート観光プラットフォーム」にて、新たな実証実験を実施 ～リアルタイムかつ参加型のリモート観光を自宅のCATVで体験～

住友電気工業株式会社（代表取締役社長 ^{いのうえ おきむ}井上 治、以下 住友電工）と東京トラベルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 ^{くりはら しげゆき}栗原 茂行、以下 東京トラベル）、一般社団法人関西イノベーションセンター（代表理事 ^{はやし やすひで}林 安秀、以下 当社団）は、今般、当社団が運営するイノベーション創出拠点「MUIC Kansai（以下「MUIC」）」を通じて、在宅の高齢者が自宅テレビのリモコンで体験できるリモート観光ツアーの新たな実証実験を実施いたしました。実証実験の結果を踏まえて、今後商用化に向けた活動を実施してまいります。

1. 実証実験の概要

項目	内容
実験サービスの概要	■ CATV 事業者の通信インフラを介し、自宅テレビのリモコン操作のみで体験できる、リアルタイムかつ参加型のリモート観光ツアー
実施時期	■ 2022年3月18日（金）～3月31日（木）
対象	■ 株式会社ベイ・コミュニケーションズ（以下 Baycom）の社員と そのご家族 5世帯 ■ 年齢は、60代～80代
検証内容	■ テレビを通じたリモート観光ツアーの仕様上の課題抽出 ■ 戸宅（特に高齢者）向けリモート観光サービスの課題抽出 ■ 通信環境、アプリケーションの UI（ユーザーインターフェイス）検証、テレビリモコンオペレーションの確認
参画事業者／役割	■ 住友電工／ 本実証実験で使用するテレビ放送の受信機器「セットトップボックス（以下 STB）」の提供及び追加開発。アプリケーションソフト（以下 App）開発 ■ 東京トラベル／ リモート観光ツアー体験コンテンツの提供 ■ Baycom／ 実証実験のモニター協力

【実証実験スキーム】



2. 背景・経緯

- 本年2月末にMUICの会員企業と東京トラベルとのアライアンス体制を構築^[1]し、関西の介護・医療・福祉施設の高齢者を対象としたリモート観光ツアーのサービスを開始いたしました。
- 新型コロナウイルスの影響により外出制限がされる中、旅行に行きたくても行けない高齢者の方に広くリモート観光サービスを提供すべく、今回新たに在宅高齢者向けのサービス化を目指し、本実証実験を実施いたしました。
- 住友電工は、研究開発を進めるマルチ遠隔コミュニケーションシステムの技術を活用し、リモート観光ツアーを視聴できるAppを開発しました。また、住友電工が開発、販売しているCATV放送用の受信機器STBを、同社が出資するCATV事業者Baycomの協力のもと、CATV視聴者に提供いたしました。
- 東京トラベルは、提供している視聴者参加型動画配信サービス「旅介ちゃんねる」をSTBと連携させることで、CATV事業者の通信インフラを使って視聴が可能となりました。
- MUICは、本件における参画事業者のチームアップおよび企画のアレンジと実証実験の資金支援をすることで、大企業とスタートアップ企業のスピーディーな連携体制を構築し、複数事業者での実証実験実施をサポートいたしました。
- 以上の結果、各社の協業により本実証実験において、リモート観光ツアーが自宅テレビを通じ、リモコン操作での視聴が可能となりました。

3. 今後の展開

- ▶ 本件をきっかけに、高齢者への新たな観光サービス提供拡大に向けて、引き続き事業者・団体の皆様との協業を進めるとともに、本実証実験のように課題起点の共創を促進することで、観光にイノベーションを興じ、観光の経済効果の最大化を目指してまいります。

以上

【ご参考】

<サービスイメージ>

(テレビの選択画面)



(コンテンツ一覧画面)



(音声マイクでのチャット入力画面)



[1] 2022年2月28日付ニュースリリース

課題解決プログラム第一弾「リモート観光プラットフォーム」の事業化！
高齢者向けサービスの開始について

<https://www.muic-kansai.jp/news/20220228.html>